

令和6年度 林業普及週間現地情報 (5/27～5/31)

森林管理課

複層林施業地における収穫伐採について

5月28日(火)

令和6年5月28日(火)に平得県営林内(石垣島)における複層林施業地の収穫伐採現場の確認を行った。

当該地は上層リュウキュウマツ、下層イスノキによる二段林が形成された複層林施業地である。上層のリュウキュウマツは伐期を迎えており、地域内外での需要もある中で、地元の林業事業者である佐藤林業が払い下げにより収穫伐採を行うこととなった。

複層林の上層木を収穫する場合、下層木の損傷を出来るだけ最小限に留める必要があり、高度な伐倒・搬出技術を要するため、複層林の上層木の収穫はこれまで事例が殆どない。佐藤林業は架線を使った伐出を得意とする事業者で、今回の複層林における収穫伐採は沖縄県内でも先進的な取組である。

現場は既に殆どの上層木の伐倒が完了しており、集材作業を行っているところであった。また、下層のイスノキについては殆ど無傷で残っており、伐倒による樹幹の折損等は見られなかった。集材に関してはバックホウ(ウインチ付き)による地引集材を行っており、下層木の間を通す形で行っていた。

複層林施業は下層を育成することで、森林の機能を維持しつつ木材生産を行うことが可能であるが、今回のように下層木の保存を行う必要があるため、伐採には高度な技術が必要になるほか、時間や労力を必要とするためコストが高くなってしまいう面もある。今後はより経済性の高い複層林施業(帯状複層林等)についても検討し、計画的な造林事業を推進していく。



収穫前



収穫後